

こんにちは日本共産党村議の 川崎あつ子です

2009年 6月 20日 21

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1

TEL/FAX 029-282-0229

atsukok@nexyzbb.ne.jp



村の花スカシユリ



6月議会の傍聴ありがとうございました
みなさんの声をもとに7項目について一般質問を行いました

1. 誰もが安心して利用でき、安心して働ける介護制度をめざす村独自策について
2. 原電のプルサーマル計画の危険性について
3. 新型インフルエンザ対策は
4. 東海病院について
5. 中止にすべき学力テスト
6. 就学援助の拡充を
7. 白方小学校跡地利用について

今議会は、行政報告6件、同意議案含めた議案13件の審議が行われました。私たちは、住民の暮らしを守るため、十分な検討を行い審議に臨みました。また、請願第21-2号「気候保護法（仮称）」の制定を求める請願書の紹介議員になり、建設経済環境委員会に付託になりました。

7月9日午前10時～建設経済環境委員会において、紹介議員として請願の説明を行う予定です。

「イヤです」の声
が広がるなか…

東海第2原発の新事業「プルサーマル計画」

4日、電気事業連合会は、日本原電にプルサーマル計画の目標達成時期の延期など見直し検討を指示しましたが…。



わが家からのぞむ日の出

プルサーマル計画とは
ウラン使用済み核燃料に、含まれるわずか約1%のプルトニウムを再処理で取り出し、プルトニウム・ウラン混合酸化物というMOX（モックス）燃料にしたものを、老朽軽水炉の東海第2原発で燃やして発電する計画です。問題点を8点にまとめてみました。

国内外において実規模での実証試験がないなかで、いきなり東海原発で使用することは危険
プルトニウムは、体内に入ると（アルファ）線による内部被ばくによってガン発生につながる猛毒な物質 数kgで長崎型の核弾頭ができるという核兵器の材料にもなる危険な物質 普通の原発で燃やすことは、ウランより中性子を多く吸収し核反応しやすい特性があるため制御が利きにくくなる モックス燃料を使うと現在使われている低濃縮ウランと比べて、高レベル放射性元素アクチニドの量が数倍、数10倍も増え、大量の放射線が超長期にわたって放出され、原発の危険をさらに増大 健康被害が問題となつている原発労働者の被ばくの危険をいっそうひどくする 大量に残されている原発53基分ものウラン使用済み燃料の再処理が優先され、プルサーマル使用済み燃料の再処理は当面考えられない 半永久的に東海村内に強い放射能を持つMOXの使用済み燃料を保管することを覚悟しなければならぬ。

無謀なプルサーマル計画は、延期などではなく直ちに中止すべきと思います。 みなさんはどうお考えでしょうか。

「赤旗日曜版」が届いたその日は、すみからすみまで読んでいます。息子に「なんでその新聞ばかり読んでるんだ？」と言われるんですが、「なるほどそうなのか」と思える内容ばかりなので、頭が良くなるような気がする」と言ってるんです。

「しんぶん赤旗」読者のご年配の方からの声

安心して働き、暮らせるルールある日本社会実現へ、政治の中身を変える日本共産党。

比例代表選挙は
日本共産党へ